

他教科の学びをいかして考えを深め、聞き手に

わかりやすく伝えることができる生徒の育成

—教科横断的な学びとフィードバックを取り入れた 英語科の授業実践を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

足立 健太郎

本研究では、グローバル社会に生きるために必要な資質・能力を育成するために、国語科との内容的なつながりを意識して単元計画を工夫し、英語科の実践を行った。教科横断的な学びにより深めた考えを、オーストラリアの生徒にわかりやすく伝えるという単元を貫く課題を設定することで、伝える相手を意識して発表原稿を作成したり、映像撮影に取り組んだりする姿が見られた。実践前後の質問紙調査からは、国語科で学習した俳句についての知識を活用して、俳句と英語俳句との違いを比較したり、オリジナルの俳句づくりに挑戦して紹介したりすることで、伝統文化についての理解を深められたことが分かった。さらに、Small Talk においてリキャストによる継続的な修正フィードバック（Corrective Feedback）を与えたり、発表を撮影した映像をフィードバックとして用いたりすることで、聞き手にわかりやすく伝えることを意識したプレゼンテーションを行うことができた。